

平成30年度「隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」の取組結果について

1. 計画の概要

隠岐広域連合では事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスを削減するため、「第3期隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」（平成29～33年度）を策定し、対策に取り組んでいます。※この計画における温室効果ガスは二酸化炭素としています。

■平成30年度の取組結果は以下のとおりです。

(単位：t co2)

	平成27年度 (基準年度)	①目標値 (削減△3%)	②平成30年度 (実績)	比較増減 (②-①)
二酸化炭素	2,851	2,765	2,632	△133

2. 温室効果ガスの排出状況

1) 主要項目別取組結果

■主要項目別では、灯油、液化石油ガスについての排出量が目標値に比べて増加しています。

(単位：t co2)

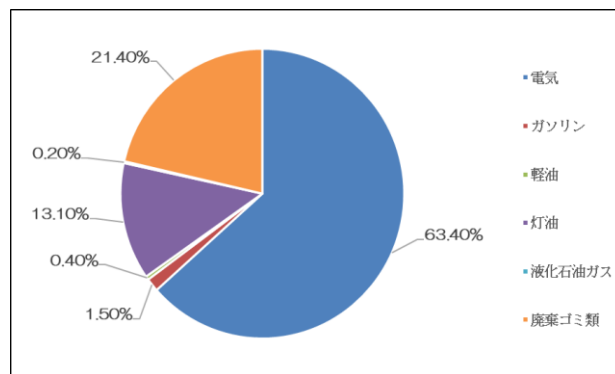
	平成27年度 (基準年度)	①目標値 (削減△3%)	②平成30年度 (実績)	比較増減 (②-①)
電気	1,853	1,797	1,669	△128
ガソリン	40	39	39	0
軽油	12	11	11	0
灯油	333	323	343	20
液化石油ガス	5	5	6	1
廃棄ゴミ類	608	590	564	△26

2) 要因別温室効果ガスの排出割合

■排出割合を見ると、電気が63%、廃棄ゴミ類が21%と多くを占めています。

(単位：t co2)

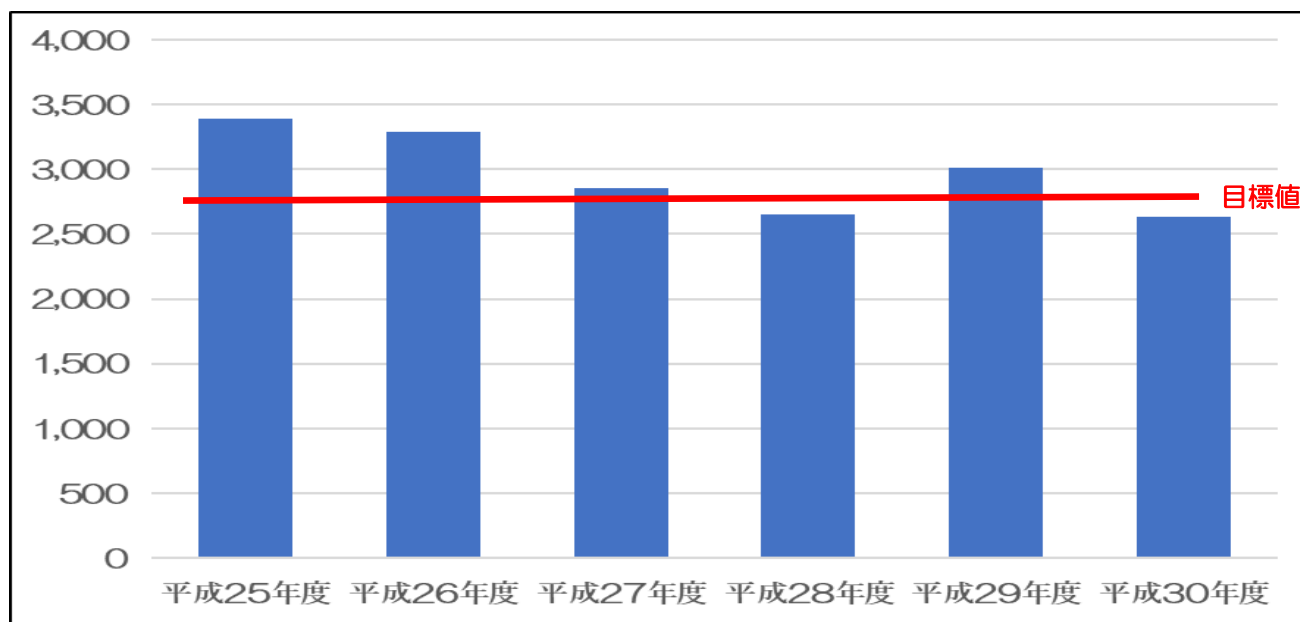
	平成30年度 (実績)	割合
電気	1,669	63.4%
ガソリン	39	1.5%
軽油	11	0.4%
灯油	343	13.1%
液化石油ガス	6	0.2%
廃棄ゴミ類	564	21.4%



3) 取り組みの推移

■平成30年度は基準年度と比較して7.7%の減少、目標値と比較して4.8%の減少となっています。

(単位：t co2)



3. 取組結果の状況

隠岐広域連合の温室効果ガスの総排出量は目標値に比べ減少しました。

要因としては、夏の平均気温の上昇、冬の大雪などがあった中、職員の意識改革による創意工夫が大きな要因と考えられます。

4. 今後の取り組み

職員一人ひとりが事務事業の執行の中で、日常的に省エネ・省資源に取り組むことにより、温室効果ガスを削減することができます。今回の結果を受け、より一層ノー残業デーの徹底や冷暖房機器等の光熱費の削減に取り組んでいきます。

今後も目標を達成するため、職員の更なる意識向上を図るとともに、取り組みを推進していきます。

【参考】隠岐広域連合の対象施設毎の温室効果ガス排出量

(単位：t co2)

	平成29年度	平成30年度
隠岐病院	2,498	2,236
隠岐島前病院	354	266
消防本部（分署・出張所含む）	142	112
事務局	22	18